

教育研究データ

1. 氏名	植田 智		
2. 生年月	1963年3月		
3. 取得学位	文学修士		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2016年4月より	①健康心理学の演習授業において、自らの生活習慣の改善プログラムを設計し、授業外においてその実践と効果検証を行っている。	
	2017年4月より	②現代教養科目「子どもと社会」において、コメントペーパーを次回の最初に提出させるようにすることで、その回の復習を確実にに行えるようにしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2011年3月	広島県主催の「若者の子育てと家庭づくりに対する意識の調査研究」研究成果発表会において、子育て支援をテーマとする3種の教育実践の効果についての発表を行った。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
① 心理学への扉	共著	2006年5月	北大路書房
② 新版社会心理学用語辞典	共著	1995年2月	北大路書房
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 対人交渉過程に関する社会心理学的研究(Ⅲ)－他者への要請方略に及ぼす要請内容のコストおよび被要請者の社会的地位の効果－	単著	1992年3月	『広島大学教育学部紀要』第1部, 第40巻, 119-125.
②ハッピーネスに関する心理学的研究(2)－ハッピーネス尺度作成の試み－	共著	1993年3月	『広島大学教育学部紀要』第1部, 第41巻, 35-40.
③ 「いのち」イメージと養護性の関連性	単著	2000年11月	『鳥取女子短期大学研究紀要』第42号, 9-16.
④承諾獲得方略尺度作成の試み	共著	2017年3月	『対人コミュニケーション研究』第5号, 23-38.
⑤心理的リアクタンス過程の検討(3) :	共著	2017年3月	『広島文教女子大学心理学研究』第3

強制脅威と禁止脅威に対する反発		巻第 2 号,23-34.
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
① 『忙しさ』認知および生活時間がストレスに与える影響	2006 年 9 月	日本健康心理学会第 19 回大会
② 子育て支援体験による女子大学生の子育て意識の変化—体験の質的・量的違いに着目して—	2011 年 7 月	日本教育心理学会第 53 回大会
③ 文教マネジメントシステム (BMS) による質保証の取組みについて	2013 年 8 月	高等教育質保証学会第 3 回大会
(4) 所属学会		
① 日本心理学会		
② 日本社会心理学会		
③ 日本グループ・ダイナミックス学会		
④ 日本教育心理学会		
⑤ 日本健康心理学会		